

今月の行事予定

- 4・17日 礼拝 2日 佐山ふるさとまつり出展
5日 もも組さつまいも掘り 6日 内科検診
6日 引き渡し訓練(16:00までに降園)
7日 3・4歳児秋のえんそく(手作り弁当/雨天11日)
発育測定(17日そうきりん 13日うさぎりす 14日あひるひよこ)
14日 やきいも 19日 保育園説明会
20日 ほし組さんまクッキング クッキー作り
21日 誕生会 26日 ケーブルテレビ撮影
27日 佐山小交流・集金引落 28日 5歳児シルエット

11月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2025年11月1日

保育目標 領解 ころろがけます

- ・約束やルールのある遊びを友だちと一緒に楽しむ。
- ・秋の自然物を使って、工夫したり、考えたりしながら作ってみる

【法話】 よい心

夏の暑さがウソのように、涼しさ、肌寒さを感じるようになりました。地域の方のお陰で、夏の暑さを耐えたさつまいもを、今年もたくさん掘らせていただきました。月はみんなで焼きいもを味わう経験もさせていただきます。有り難いことです。季節の変わり目、体調の変化に留意しながら、実りの秋に、一回り大きく成長できる体験を重ねていきたいと思っています。

10月の園だよりでは、私たち人間の心は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六つの迷いの心が、次から次へとわきおこってくることを書きました。この六つの悪い心は、死ぬまで決して私の心から、なくなることはありません。でも、仏さまの教えを一生懸命に聞くと、仏さまのよい心が、私の悪い心をつつんでくださいます。仏さまのよい心とは、

しょうもん
声聞の心(正しい教えを一生懸命に聞く心)

えんかく
縁覚の心(正しい道理をわきまえて反省する心)

ぼさつ
菩薩の心(みんなのことを考える心)

ぶつ
仏の心(私たちすべてのものを救わずにはおかないと誓われた阿弥陀さまのような心)の四つです。

仏さまのよい心をいただいて、私の悪い心がそれにつつまれていても、縁にふれれば、やっぱり悪い心がニョキッと顔を出してしまいます。仏さまのよい心につつまれてありがたい、そして悪い心にお恥ずかしい、ごめんなさいと

かんしゃ「感謝」とざんぎ「慚愧」の生活をさせていただきたいものです。
合 掌

【子どもとの向き合い方 スマホとの付き合い方】

「下の子がお風呂に入っている時にばかり『松ぼっくりは水につけるとなぜ閉じるの?』みたいに、やたらと色々質問してくるので『何でお風呂の時に沢山聞くの?』と聞いたら『お風呂だったらスマホの答えでなくて、お父さんの答えが聞けて、わからなくてもいっしょに考えられるから』と言われた。正解を伝えてあげたくて、わからないことはスマホで調べて教えていたけど、彼からしたら答えよりプロセスを楽しみたかったのだとわかり深く反省しました。向き合い方って大切ですね。」

これはインターネット(togetter)で見かけた子育て中のお父さんの言葉です。

『視力の低下』『遊びの不足』『コミュニケーション力の低下』など、「スマホ育児が子どもを壊す」とも言われるようになってきました。その一方、現在の生活にとって、スマホは不可欠なものとなりました。だからこそ、スマホとどう付き合っていくかが大切になってきます。上記のお父さんの言葉の中にある『いっしょに考える』『プロセスを楽しむ』というところに、子どもとの向き合い方、スマホとの付き合い方の大切な視点があるように思います。

例えば、先日のわくきら☆スポッチャでは、園児だけでなく保護者の皆様も、わくきら☆応援団としていっしょに楽しんでいただきました。しかしながら、スマホがあるために、子どもといっしょにプロセスを楽しめなかったのではないのでしょうか?かけっこのゴールの場面で、我が子が駆け込んできてくれるのが嬉しくて記録したくなる場面ですが、子ども達としては、お家の方にしっかり抱きしめてほしい、いっしょにやりたかった、スマホではなくてお家の方の笑顔に迎えてほしいと思っていたに違いありません。

身体を使って遊ぶ、自然に触れる、何かを作る、想像を楽しむ、ゆっくり話しをするなど、スマホがなくてもできる活動や遊びは沢山ありますが、『誰かといっしょにする』からこそ楽しいのです。「スマホのない時間をいっしょに楽しむ」から始めてみませんか?